

ふたはの桂



京都府立大学広報誌

KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY

No.189

2023.10



特集

もっと知りたい！新生・京都府立大学

学部・学科再編特集



2024年4月5学部体制スタート

もっと知りたい！

新生・京都府立大学

なぜ、いま再編なのか

少子化により18歳人口が減少する中、日本の大学全体の改革が迫られています。特に科学・技術・工学・数学の統合的な学習や芸術的なアプローチで現代社会の問題に取り組む「STEAM教育」をはじめ、産業の成長分野を支える情報人材の育成を図るための数理・データサイエンスの教育、持続可能な世界を実現するための目標をうたった「SDGs」、我が国が目指すべき未来社会の姿を提唱する「Society5.0」など、本学も時代の変化に即応して改革を進め、社会の要請に応える大学づくりに取り組んでいきます。



京都府立大学が目指す方向性

理念

「魅せる公立大学」～文化・産業・暮らしの未来を創る「知の拠点」～

自由な学風を基にした京都らしい基礎分野の教育・研究の推進、地域貢献、産学公連携による社会実装化といった特色ある教育・研究を展開。
地域社会の未来を創造する「知の拠点」として、教育・研究領域のさらなる強化を目指して総合大学へと発展的再編を行います。

文学部

「文化の力で京都力を発展させる」

公共政策学部

「人とコミュニティを大切にする共生社会の構築を支援する」

農学食科学部

「食農に関する豊かな産業を創造する人材を育てる」

生命理工情報学部

「AI・データサイエンス関係の先端科学技術人材を育てる」

環境科学部

「環境にやさしく安心・安全な地域社会づくりを支える」



京都府立大学の沿革

京都府立女子専門学校 開校 ● 1927

1895 ● 京都府簡易農学校 設置

1944 ● 京都府立高等農林学校 開校
京都府農林専門学校に改称

1949 ● 西京大学 発足
文家政学部 — 文芸学科 / 福祉児童学科 / 生活科学科
農学部 — 農学科 / 林学科 / 農芸化学科

1951 ● 西京大学女子短期大学部 併設

1959 ● 創業10周年に京都府立大学に改称

1959 ● 京都府立大学女子短期大学部に改称

1995 ● 開学100周年

1997 ● 福祉社会学部・人間環境学部 設置

1998 ● 女子短期大学部 閉学

2008 ● 京都府公立大学法人京都府立大学 設立

文学部 — 日本・中国文学科 / 欧米言語文化学科 / 歴史学科
公共政策学部 — 公共政策学科 / 福祉社会学科
生命環境学部 — 生命分子化学科 / 農学生命科学科 / 食保健学科 /
環境・情報科学科 / 環境デザイン学科 / 森林科学科

2019 ● 文学部 和食文化学科 開設

2024 ● 学部学科再編

社会的な出来事

1894 ● 日清戦争

1904 ● 日露戦争

1923 ● 関東大震災

1945 ● 第二次世界大戦 終結

1948 ● 学制改革により新制大学発足

1989 ● 消費税スタート

1995 ● 阪神淡路大震災

2004 ● 地方独立行政法人法 施行

2011 ● 東日本大震災

2013 ● 「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録

2020 ● 新型コロナウイルス感染症 流行

文学部 公共政策学部 生命環境学部



2024年度から5学部12学科の新体制になる「新生・京都府立大学」。それぞれの学部長に、気になることを質問して答えてもらいました!

次のページからは、「新生・京都府立大学」の各学部の魅力を紹介します。>>>

農学食科学部

大解剖



農学食科学部 栄養科学科
(現：生命環境学部 食保健学科)

桑波田 雅士 教授

管理栄養士の資格を有する教育・研究者です。前任校では医学部内の学科に在籍し、附属病院における患者の栄養管理の経験も有します。本学ではその経験も活かした講義、研究を展開しています。



Q ズバリ一言で表すと、どんな学部？

様々な角度から「食」を探求する学部！
府立大学における食に関連する学科、教員が一堂に会します。

Q 何を学べる学部ですか？

例えばSDGsの目標と関連づけると、農学生命科学科では持続可能な食料生産のためにも必要となる最先端の農業科学を、栄養科学科では子どもや高齢者などいろいろな対象の栄養不良をなくすための健康科学を学べます。そしてこれらの技術や知識を実生活に活用し、社会そして世界に広げていくために必須となる食文化学、とりわけ我が国が誇る和食の歴史や科学を和食文化科学科で学べます。ちなみにこれらはあくまで一例ですので、各学科とも、それぞれ特徴的なアプローチで「食」に関連する知識や技術を学ぶことができます。

Q 生命環境学部から農学食科学部へ。再編によって何がかわるのですか？

講義では、各学科5名ずつの教員が順番に担当する学部共通科目を新設します。食に関連する様々な分野の課題や実例を紹介しますので、知識や興味を膨らませる機会になれると思います。また4回生になると3学科とも卒業研究に取り

組んでもらいます。新たな組合せによる他学科との共同研究も予想され、我々教員も楽しみです。

Q どんな授業がありますか？

3学科それぞれ専門性の高い実験・実習や演習、フィールドワークが特徴的です。農学生命科学科では、附属農場や動物飼育施設を活用した実験・実習のほか、京都府農林水産技術センターなどとも連携しています。栄養科学科では、京都府内保健所、京都府立医科大学附属病院や京都府保健環境研究所など実践現場における臨地校外実習等が充実しています。そして和食文化科学科では、市内の数々の重要文化財建造物での実習、和食調理人や京野菜生産農家を訪問するフィールドワークなどが豊富です。

Q 文学部の和食文化学科を前身とする和食文化科学科。“文理融合”の学びってどういうもの？

和食文化について、歴史学・経営学・人類学・食科学・農学など、文系・理系を問わず幅広い分野を横断的に学びます。理系学部の学科ですが、文系クラスからの入学者も問題ありません。歴史をはじめ、講義の中では文系分野の知識も重要であり、文系の知識や視点を活かして和食文化科学を深めて頂きたいと思います。入学後、理系科目を学ぶことによって、より視野を広げてください。

学科の推しポイント！



農学生命科学科

推しは色々な「広さ」です。創立時の京都府簡易農学校の伝統を受け継ぎつつゲノム編集のような最新技術も使い、食料生産から利用まで、無機成分からゲノム・個体・生態系レベルの幅広い教育研究を行っています。広々とした精華農場も活用しています。農と食を通じた生命現象に興味があれば、夢中になれる学問が見つかるはず！

栄養科学科

栄養科学科は管理栄養士養成課程であるとともに、研究指導も熱心に行っています。4回生は5つの研究室のいずれかに所属し、それぞれのテーマで約1年間卒業研究に取り組みます。定員は1学年25人と少人数制です*。卒業後の進路は大学院進学のほか、食品会社での開発職、食品衛生監視員など多岐にわたります。

和食文化科学科

所属する学部は変わりますが、文系・理系の枠を越えたさまざまな学問領域を横断しながら、和食文化を幅広い視野から学ぶ、という学科設立の理念はまったく変更ありません。農家、市場、食品生産・加工業者、料亭などの食の現場に出かけて、京都全体をキャンパスと考えた授業を展開しています。

*2025年度以降は30人(予定)

生命理工情報学部

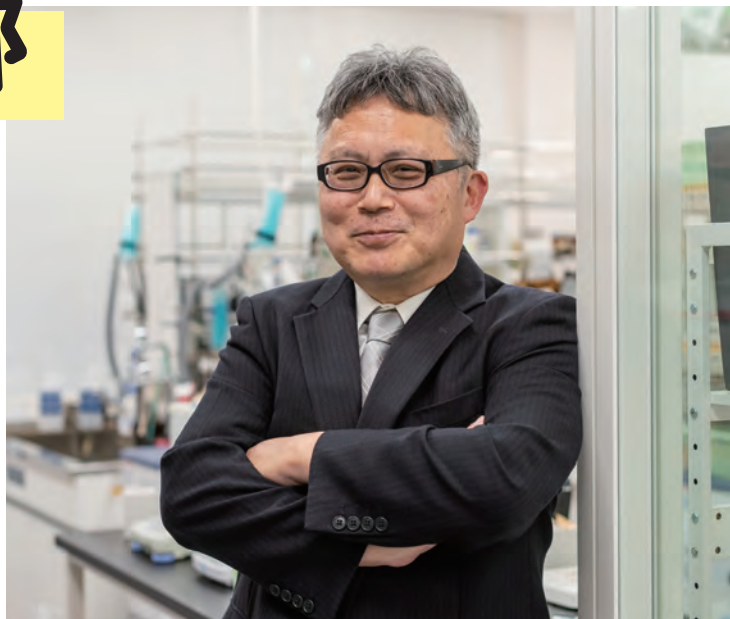
大解剖



生命理工情報学部 生命化学科
(現：生命環境学部 生命分子化学科)

椿 一典 教授

大学卒業後、製薬会社の新薬の探索合成の研究を11年間やっていました。その後、大学に職を得ました。研究内容は一貫して有機化合物の合成方法の開発や新たな機能を持つ化合物の創出です。



Q ズバリ一言で表すと、どんな学部？

とんがった研究を通じて学理を追求し、研究成果が人の役に立てば言うことなし!と考える研究者が多い学部です。

Q 生命環境学部から生命理工情報学部へ。再編によって何がかわるのですか？

現行の6学科体制から2学科を一つの学部とすることで、指向する研究の方向性が明確になりました。生命化学科には、生命現象を化学的に理解し、その成果を社会に還元することを目的に、学内の化学に関連する教員が参集しました。さらに新たな教員も加わり、体制を強化しています。理工情報学科では、データサイエンスに強い理工系スペシャリストの育成を目指し、生物学・物理学・数学・情報学を専門とする教員に加えてバイオインフォマティクス(生命情報学)を扱う教員も参画し、より深みのある教育・研究を展開していきます。

Q どんな授業がありますか？

生命化学科では実験を重視し、充実させています。2回生の後期から3回生前期にかけて、生命化学実験I(化学、生化学)実験II(無機・分析化学、分子生

物学)、実験III(有機化学)、実験IV(物理化学、タンパク質科学)が実施され、基本的な実験操作や原理を習得します。理工情報学科では、AIデータサイエンス科目と情報系科目をベースとして、理工学系科目の基本的な内容をしっかりと咀嚼して本質的な部分まで理解を深め、理工情報学分野の専門知識を自らの言葉できちんと表現し、実践できる能力を身につけることを重要視しています。

Q 学部内の他の学科の授業を受けることはできますか？

各学科の専門科目の一部の講義を受講することができます。また、理工情報学科では、AIデータサイエンスセンターが提供するAIデータサイエンス関連の科目をAIデータサイエンス副専攻として履修することにより、データサイエンスと情報科学の基盤をマスターすることができます。

Q 卒業研究(卒業論文)はどんなことをするのですか？

毎年2月に卒論発表会が行われます。一年間の研究の成果を発表する晴れの舞台です。2023年度の卒論のタイトルを示します。「ラダー型オリゴナフトフランの合成と物性評価」「尿路結石結合タンパク質/ペプチドの創製」「色覚異常者のための衣服の色・柄認識補助アプリの開発に関する研究」「新規病害抵抗生誘導剤として働く窒素含有化合物の発見」など、多岐にわたっています。

学科の推しポイント!

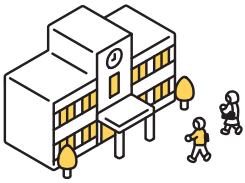


生命化学科

一学年定員32名と少数で、学生と教員の距離が近くアットホームで和気あいあいとした中、教育研究には真剣に厳しく向き合います。楽しさいっぱい学生生活と、学業にも真摯に向き合う充実した学生生活の両方を手に入れたい諸君、熱い教員や先輩が待っています。また実験を重視していますので、実際に手を動かして、学んだ知識を深く理解し、思考力・問題解決力を身につけます。何でもやってみたい皆さん、さあ生命化学科へ!

理工情報学科

理工情報系分野において世界に通用する専門家を目指すためには、理工情報系分野の学問に対する好奇心と探究心に加えて、論理的な思考力と的確な表現力および数値データを的確に解析する能力が大切です。そのため、本学科では、データサイエンス科目と情報系科目をベースとして、理系科目の基本的な内容をしっかりと咀嚼して本質的な部分まで理解を深めることで、物事の本質を的確に解析し、自らの言葉できちんと表現できる能力を身につけることを重要視しています。



環境科学部

大解剖



環境科学部 環境デザイン学科
(現：生命環境学部 環境デザイン学科)

山川肇 教授

学生の頃から一貫して、ごみ減量行動とごみ減量政策の研究を行ってきました。近年は主にリデュース・リユースについて研究しています。また、国や自治体に協力してごみ減量政策に取り組んでいます。



Q ズバリ一言で表すと、どんな学部？

「森」と「住環境」にフォーカスした環境科学部、です。広大な環境科学の領域から対象を絞りつつ、幅広いアプローチで学びます。

Q 何を学べる学部ですか？

森林科学科では、森林を持続的に管理するために、森林と環境・資源・水・土壌の関係や森林の持つ災害防止機能、木質系資源の有効利用、およびこれらを総合的に管理するためのシステムについて学べます。環境デザイン学科では、インテリアから住宅・建築・都市・地域まで、生活者の視点で住環境を計画・設計できる提案・デザイン力を養います。さらにその材料や構造などの安全性、熱や光・音などの環境制御、地域の歴史・文化・景観・自然環境との調和など、安心なくらしの創出と豊かな生活環境の創造に必要な知見についても学びます。

Q 生命環境学部から環境科学部へ。再編によって何がかわるのですか？

新たに共通の必修科目として「環境科学概論」を導入します。すべての学生がこの科目を学ぶことで、気候変動、生物多様性、資源循環、災害、都市・山林、生活環境、材料など異なるスケール・切り口で、身近な生活空間から自然

の生態系に至る「環境」を多面的・横断的に捉える視点を獲得できます。この共通基盤の上に各学科の専門的学びを積み上げるカリキュラムとすることで、さらに持続可能な社会づくりに貢献できる学びの場へと変化します。

Q どんな授業がありますか？

森林科学科では、1年次の「基礎実習」で森林生態系、森林の計測、木材の性質などについて、体験的に理解します。3・4年次の「総合実習」では附属演習林も利用し、森林の持続的維持管理、災害防止、木質資源の有効利用を実践するための技術の基礎を身につけます。環境デザイン学科では、「環境デザイン実習」が1年次から3年次まであります。1年次では基礎的な製図技術や設計手法について学び、2年次から3年次には低層や中高層の住宅、博物館、インテリア、庭園などを設計し、図面、模型の制作を通じて基礎から応用まで学びます。

Q 学部内の他の学科の授業を受けることはできますか？

受けられます。より深い学びや広い学びをサポートするため、木材の生産と利用、都市の生態系などいくつかの分野の科目を互いに他学科に提供しています。さらに環境デザイン学科では、森林科学科に限らず、他学部他学科の学びたい専門科目を3科目程度まで卒業に必要な単位として取得することができます。なお授業を受けるだけでなく、さらに可能です。

学科の推しポイント！



森林科学科

「生物と環境を守り、災害を防ぎ、資源を恵んでくれる森林」について学ぶ学科です。地球環境問題が深刻化の中で、多くの方が森林の働きに期待しています。今、必要なのは森林の働きの科学的な理解と、森林資源のより有効な利用方法の確立です。私たちの学科では、多様な講義と実習を通じて、そのような知識を身につけた人材、高度な技術者、専門家の育成を目的としています。

【写真】土壌を掘って観察したり、災害の危険がある斜面の工事(山腹工)を見学したりもします。こうした体験を通じて森林の働きや周辺環境との相互作用について学びます。



環境デザイン学科

「生活・空間・住環境をデザインする」ことを学ぶ学科です。皆さんの生活している環境や空間をより良くするためには、専門的な知識や技術を学ぶことが必要です。私たちの学科は、そういった点を踏まえて住居や建築、インテリア、都市、防災、環境、ランドスケープといった様々な視点から多角的に専門的な技術を学び、技術者養成を目指している特徴のある学科です。



文学部 大解剖

学部長に
聞いてみた！

Q&A

文学部 歴史学科
菱田 哲郎 教授

専門は考古学。京都府立大学には1992年に赴任し、以後30年あまり、考古学の授業を担当しながら、遺跡や遺物の調査から歴史を再構築することに没頭しています。



Q ズバリ一言で表すと、どんな学部？

古今東西の文化・歴史を学ぶ。文字テキストを中心に、文化遺産なども材料にしながら、国内外の文化や歴史を縦横無尽に調べ、解明していきます。

Q 何を学べる学部ですか？

日本・中国文学科は、日本語学・日本文学・和漢比較文学・中国文学・京都文化学などについて、相互の関連をふまえながら学ぶことができます。国際文化交流学科は、異文化理解を深めることを目的として、国際京都文化、英語圏文化、外国語コミュニケーションの分野について学ぶことができます。歴史学科は、日本を中心として広く世界について、その社会と文化、思想の歴史的展開について学ぶことができます。文学部では学部全体の基礎として、京都文化を学ぶことも重視しており、京都府立京都学・歴史館との連携のもと深い学びができることもポイントです。

Q 日本・中国文学科と欧米言語文化学科からの名称変更に伴って何がかわるのですか？

日本・中国文学科は、文学とその背景にある文化にも目を配って研究や教育を進めていきます。出版文化や芸術などについてより一層コミットしていくことになります。国際文化交流学科は、日英文化交流など、文化の交流につ

いての研究や教育が展開することになります。交流のための異文化理解をより促進していくことになります。

Q どんな授業がありますか？

1年生と2年生は教養科目のほかに国際京都学プログラムの授業を取ることになります。併せて専門の基礎を身につけるとともに、京都の歴史文化に対する広い知識を養います。3年生からはそれぞれの専門分野が深められるように授業が配されています。各学科でもうけられている演習(ゼミナール)では、自ら調べて発表するという機会が多くなり、課題を発見し解決するという能力を身につけていくことになります。その集大成として4年生で卒業論文に取り組み、オリジナリティのある研究成果を自らが中心となってまとめることになります。

Q “国際京都学プログラム”とは何ですか？

単に京都の歴史や文化を学ぶというだけではなく、アジアあるいはヨーロッパの歴史都市との比較もおこないながら、みやこである京都の特質を多角的に学んでいきます。そのために「国際京都学入門」を最初に受けた後、「京都文化学フィールド実習」や「文化遺産フィールド政策論」「世界遺産都市研修」といった実地に学ぶフィールド科目を受けるようになっています。また、授業と連動して、「府大生×歴史館 コラボで探る京都学」という展示企画を京都学・歴史館との協働で実施しています。

学科の推しポイント！

日本・中国文学科

日本語や日本文学、中国文学はもちろん、和漢比較文学などを通して日本と中国の文化的交流や関係性を広く学ぶことができます。さらに古典文学や出版文化の中心となる京都文化について深く探求することで、作者と読者をつなぐメディアのあり方や芸能といった文学を取り巻く文化環境についても学びを広げることができます。

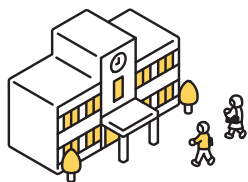
国際文化交流学科

国際文化交流学科では、おもに英語・ドイツ語の外国語コミュニケーションや英語圏文化、文化交流についての研究や教育を展開することになります。国際交流のための語学力の涵養や異文化理解をいっそう促進していきます。

歴史学科

日本を中心として広く世界について、社会と文化、思想の歴史的展開について深い理解を得ることができます。また、人々が残したさまざまな文化遺産についてもとりあげ、実地調査をおこなっています。このような活動を通して、過去の人類の営みや社会だけでなく、現代の世界についても視野と知見を広げていくことができます。





公共政策学部

大解剖

学部長に
聞いてみた！
Q&A

公共政策学部 福祉社会学科
服部 敬子 教授

専門は、発達心理学、保育学。
1.「発達障害」が発生するプロセスの解明、
2.インクルーシブ保育をめざす実践研究、
3.保育の重大事故を防止する専門性向上
に関する研究を行っています。



Q ズバリ一言で表すと、どんな学部？

「ほっこり自由でホットな対話空間」
居心地よく自由度高く講義が選べ、イマの話題を熱く議論できる学部です。

Q 何を学べる学部ですか？

「すべての人が潜在的な能力を発揮して幸せに生きられる」社会の実現を目指して、法学、経済学、政治学・政策学、社会福祉学、社会学、教育学、心理学という7つの学問分野の教員が揃っています。「社会のしくみ」と「人の行動・心のしくみ」、そして、両者の相互関係について学び、「私たちは何をどうすれば／どう行動していけばよいのか」を考えていきます。公共政策学科では京都府内の地方自治体等での実習機会が用意され、福祉社会学科では国家資格にかかわる実習・演習や社会調査、心理学実験等の科目も履修できます。

Q 学部再編はありませんが、公共政策学部は何か変わるのですか？

本学部が設立されてから15年、この間に日本でも未曾有の災害とパンデミックを経験し、環境問題、生きづらさを抱える人の増加など、社会的な課

題が山積しています。よって、すべての人が幸せに生きられる「福祉社会の構築をめざす」という理念は変えませんが、学生の「なりたい自分」が明確になるように、① キャリア・パスをイメージした4年間の履修モデルを充実させ、② 地域と結びついて学生の力が発揮できる活動を支援していきます。

Q 学部内の他の学科の授業を受けることはできますか？

できます！他学科の科目を体系的に修得できるプログラムを用意し、副専攻として認定される制度もあります。本学部の両学科には関連の深い分野が多いため、例えば、公共政策学科生が福祉や教育を、あるいは福祉社会学科生が法律や政治を学ぶことは、自分の専門への理解を深めるとともに、将来のキャリア形成にも役立ちます。

Q 卒業論文はどんなことをするのですか？

「医師の不足や長時間労働、どう解決すれば？」「ネット上の誹謗中傷への対策は？」「IT化で職が減る？」「スマホを使いすぎると記憶力が低下する？」などの素朴な疑問を、専門の学びを通して解決の道を探る「問い」にし、答えを見つけるための方法を学び、教員やゼミ仲間と議論をしながら自分の考えをまとめていきます。

学科の推しポイント！



公共政策学科

1回生から法学、政治学・政策学、経済学に関する専門科目を学際的に学べる他、先のいずれかの専門分野に基づきながらも分野の枠を超え、多角的視点が身に付くカリキュラムになっています。京都府内の自治体でのインターンシップ、学生たち自ら問いを見つけ、学術的な根拠に則って課題解決策を調査研究、提言する科目等、京都府はじめ地域との結びつきを活かした実践的な学びもできます。



福祉社会学科

“社会福祉学、社会学、教育学、心理学の4分野を学べる！”学科です。4分野を学ぶ多様な仲間と出会い、「福祉マインド」とよばれる温かい雰囲気の中で自分の世界を広げることができ、自分が本当にやりたいことを見つけることができます。生活課題を多面的な社会関係から捉える力を養い、各種の実習や学外活動などさまざまなチャレンジの機会もあり、教員が学生さんのチャレンジを応援します。



2024 入試は どう変わる!?



2024年度入学試験(2023年度実施)の概要

京都府立大学では、人間と文化、生命と環境、地域社会と暮らしへの熱いまなざしをもち、他者とともに自立した個として成長し、よりよい地域社会と国際社会の実現に力をつくす志のある学生を求めています。



入試情報は
こちら!

■2024年度一般選抜試験概要

願書受付期間	2024年1月22日(月)～2月2日(金) ※インターネット出願のみです。詳細は11月公表の募集要項で確認してください。
試験実施日	【前期日程】 2024年2月25日(日)
	【後期日程】 2024年3月12日(火)
合格発表日	【前期日程】 2024年3月8日(金)
	【後期日程】 2024年3月22日(金)

■2024年度一般選抜試験の変更点(募集人員の変更)

学科	日程	2023年度	2024年度
和食文化科学科	前期日程	15名	▶▶▶ 前期A(文系): 10名 前期B(理系): 10名
	後期日程	5名	▶▶▶ 後期試験は実施しない

■2025年度学校推薦型選抜(2024年度実施)の予告

- 栄養科学科の募集人数に変更があります。
 - 栄養科学科で課す大学入学共通テストの教科・科目は、新教育課程履修者と旧教育課程履修者で異なります。
- ※詳細は本学WEBサイトにてご確認ください。

■入試に関するよくある質問

Q 一般選抜で合格するための目標得点はどれくらいですか。

A. 過去3年間の一般選抜試験における学部学科ごとの合格者の最高点、最低点、平均点を本学WEBサイトに掲載していますので、参考にしてください。

Q 選択科目は高校で履修していたものしか選択できませんか。

A. 高校で選択していない科目でも選択可能です。学科ごとに選択科目が異なりますので、ご注意ください。なお、学校推薦型選抜については、推薦条件として履修教科・科目や履修単位数を定めている学科がありますので、ご注意ください。選択科目の詳細については「入学者選抜要項」や「募集要項」をご覧ください。

Q 過去問の閲覧はできますか。

A. 本学WEBサイトにて、過去3年分の一般選抜及び学校推薦型選抜の入試問題等を公開しています。ただし、著作権の関係で一部掲載していない部分があります。掲載していない部分をご覧になりたい場合は、本学学務課入試係(本館1階)で閲覧することができます。閲覧をご希望の方は事前に電話(075-703-5144)で予約してください。

Q ホームページ以外で入試に関する情報を知る方法がありますか。

A. 大学公式LINEアカウントがあります。進学相談会への参加方法などの情報も配信していきますので、ぜひ友だち登録をお願いします!



LINEは
こちら!



国際交流

スタンフォード大学との連携に向けて

2023年7月20日～25日、日米の研究連携強化を目的としてスタンフォード大学で開催されたJapan-US Research Collaboration Weekにて、山口美知代副学長兼国際センター長がプレゼンテーションを行いました。"A Proposal of Collaboration with Kyoto: Long-term Local Sustainability in the Ancient Capital"と題し、古都京都に根ざした本学の取組みを、新自然史科学創生センターや京都地域未来創造センターの活動を中心に紹介しました。生命環境学部の4回生2名も現地地に赴きこのセミナーを聴講しました。

また、現在、両大学の教員を中心にオンラインシンポジウムを開催する計画も進行中です。



地域連携

ACTR(アクター): 地域に根差した実践的な学び

京都府内の市町村や企業、NPO等から寄せられた地域課題について、本学教員を中心に地域と共同の研究チームを立ち上げ課題解決にあたる「地域貢献型特別研究(通称:ACTR)」という本学独自の取組みがあります。活動には多くの府大生が参加しており、2022年度の城陽市からの依頼では、特産物のPR動画を多言語で制作しました。生産者へ取材するだけでなく、特産物のおいしさも伝える動画になっており、楽しそうな府大生の様子が見られますよ。多くの言語を使って特産物をPRするのは、文学部ならではの研究ですね。城陽市市制施行50周年事業の一つとして、研究成果は12月にシンポジウムで発表しました。

今秋は、舞鶴オフィス・宮津オフィスで初の成果報告パネル展示を開催します。ぜひお立ち寄りください!



制作した城陽市
PR動画はこちらから



成果報告パネル展示

舞鶴オフィス 2023年10月5日(木)～11月6日(月)
宮津オフィス 2023年11月7日(火)～12月8日(金)

※成果報告パネル展示の日程は予定であり、変更の可能性があります。

高大連携

京都府立鳥羽高等学校における高大連携の取組み

本学は各種の協定を締結している高校を中心に高大連携の取組みを進めています。そうした高校の一つである府立鳥羽高校で、本学は同校が実施しているWWL事業を全学をあげて支援しています。鳥羽高校では普通科の1年生のすべての生徒が4～5名でグループワークにより1年間の総合的な探求に取り組みますが、その最初に3つの学部から選ばれた教員が出前講義を行い、研究や探究の進め方について講義します。そして10月ごろの中間報告会と2月ごろの成果報告会では、教員が学生・院生のTAとともに参加して各グループの発表にコメントやアドバイスを行います。研究を知れば探究のレベルがアップしますし、レベルの高い探求はそれに参加した高校生が自分を知り、未来を展望するきっかけとなります。高大連携はそうした機会の一環を担っています。

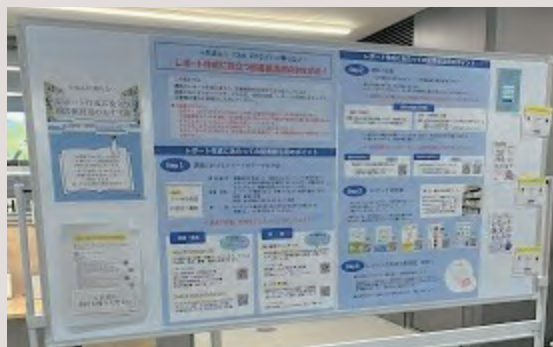


附属図書館

生成AIに頼らない！レポート作成に役立つ図書館活用術

附属図書館では、「～生成AI(Chat GPTなど)に頼らない～レポート作成に役立つ図書館活用のおすすめ!」と題し、パネル展示を実施中です。

現在、質問に応じて回答文章を作成するChat GPT等の生成AIが急速に普及し、手軽に利用できる状況となっています。生成AIは一般的な知識や多くの質問に対する応答に役立つものの、特定の専門知識や最新の情報に関しては限定的であったり、虚偽が含まれている可能性があります。その反面、図書館が提供する資料やオンラインデータベースは、学術的な情報や専門書、歴史的な資料など、より信頼性の高い情報を提供しています。生成AIを安易に頼らず自分でレポートを作成できるよう、課題におけるテーマの決定、必要な資料の収集、執筆にあたって、レポート作成の手順に沿った図書館の活用方法をご紹介します。



食の文化学位プログラム

大学院「食の文化学位プログラム」を開設準備中

本学では、大学院の新しい研究科に相当する「食の文化学位プログラム」の設置に向けて取り組んでいます。これは、複数の既存の研究科が連携協力し、社会的ニーズに柔軟に対応し、横断的な教育を行う「研究科等連係課程実施基本組織」にあたるもので、修士または博士の学位を取得することができます。

「食の文化学位プログラム」では、人の生命維持に不可欠な「食」を切り口に、農業をはじめとする産業・経済、自然環境と生活環境、健康福祉、地域振興などにおける様々な社会課題の解決に向けて、文理両面から総合的に学修するとともに、和食文化についてもさらに高度な教育研究を展開します。

2024年4月の開設に向けて準備を進めています。今後の進路を考える際は、ぜひ候補に加えてください。



広報

京都府立大学紹介動画を制作しました！！

京都府立大学の大学紹介としてshort動画「こんな大学あり!?～キャンパス潜入レポート～」の撮影を行い、8本のshort動画をYouTubeに投稿しました！

動画には、本学の卒業生で現在フリーアナウンサーとして活躍中のわだともえさんが出演されています。わださんが、潜入リポーターとして本学のキャンパスや授業風景に触れながら、大学のさまざまな魅力を発見していく様子が1分ほどの映像にまとまっています。

2024年度に学部・学科が再編される京都府立大学で、これからどんなことをどんな風に学べるのかが、個性あふれる教員と学生(とエミュー!?)の活気ある様子から垣間見えると思います。“実は個性派”な京都府立大学を紹介する動画、ぜひご視聴ください！！



完成動画はこちらから



Pick up!

研究室

公共政策学部 木戸ゼミ

公共政策学部 公共政策学科 木戸茜 准教授

Profile

立命館大学法学部卒業、北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士(法学)。富山大学経済学部講師を経て2022年より現職。研究対象は契約法、損害賠償法、国際取引法。契約法の解釈を通じた持続可能な取引社会の形成に関心がある。近著に『「ビジネスと人権」の視点をもたらず契約法学へのインパクト』ジュリスト1580号(2023年)27頁など。



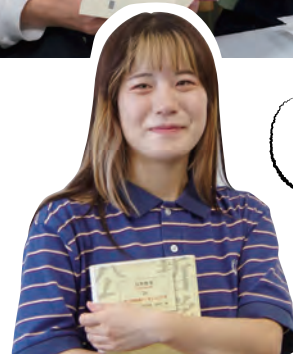
模擬裁判を通して リーガルマインドを養う

法律は私たちの生活と密に関わるものですが、堅苦しくて取っつきにくいイメージを持たれがちです。そこで本ゼミでは、模擬裁判を通して法律を身近に感じながら学んでいます。模擬裁判の対象となるのは実際の訴訟で、特に近年の民事事件を扱うことが多いです。ゼミ生は裁判官、申立人、被申立人の3つのグループに分かれ、過去の判例や専門書を参照しながら弁論を準備します。

模擬裁判によって得られるのは法律の知識だけではありません。裁判官を納得させるためには論理的に筋の通った弁論をする必要があります。聞き取りやすい話し方や、視覚に訴えるようなプレゼン資料も欠かせません。民事事件では一方の主張が100%通ることはなかなかないので、最終的な落としどころを探るバランス感覚も重要です。

論理的思考力や交渉力、公平な視点は、どれもリーガルマインド(法的思考力)と呼ばれる能力です。ゼミ生には是非リーガルマインドを身につけて、将来社会に還元してもらえたらと思っています。

今後は、企業の法務部や自治体など、法を社会に役立てる仕事をしている人を招いて話を聞く機会も増やしていきたいと計画しています。



ゼミ生の声

公共政策学科
3年生 奥村 萌香さん



フィンランド大使館商務官の講演の様子

>どんな雰囲気のゼミですか？

ゼミ生は真面目で毎回協力して取り組んでいます！判例について議論するのが楽しく、ゼミが終わった後も雑談したりします。考えに詰まった時に先生が優しく助言してくださいます。

>「このゼミでよかった！」エピソードをきかせて！

実際にあった事件をもとに模擬裁判をするため、法律が身近な所でどのように解釈され使われているのかが学べます！根拠の弱いところを質問されるため、気付かなかった問題点を発見できます。

>あなたが取り組みたい研究テーマは？

最終的な研究テーマはまだ決まっていませんが、いじめの問題やSNSの誹謗中傷等、身近な事件について関心があります。

>今後の目標を教えてください。

公務員試験の合格を目標に勉強しています。民法は試験科目で勉強するため、さらにゼミでも知識を活用して、様々な事件について研究したいと思っています。

Keyword #模擬裁判 #リーガルマインド #論理的思考力
#交渉力 #現代社会と法

Pick up!

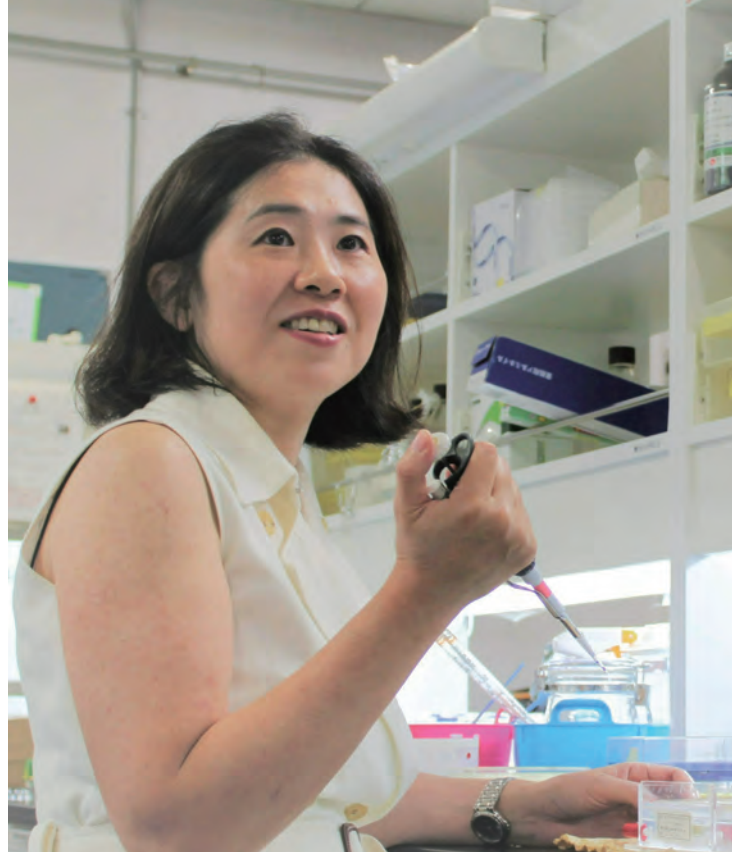
研究室

生命環境学部 平野ゼミ

生命環境学部
環境・情報科学科 平野 朋子 准教授

Profile

2011年京都大学大学院生命科学研究所統合生命科学専攻博士課程修了。博士(生命科学)。東京大学、京都府立大学などの研究員を経て、2020年より現職。植物細胞が不均一、不平等な形態形成をする謎を追いかけてきた。2019年から、分子生物学・細胞生物学を使って、虫こぶ形成メカニズムを解き明かす挑戦をしている。



虫こぶ形成の解明から 植物の潜在能力がわかる!?

昆虫と植物は、見た目も生活環も、まったく別ですが、昆虫の中には、植物の発生・成長を操作するモノがいます。植物のシステムをハイジャックして、植物がふだん作らない器官「虫こぶ」を形成させるのです。自分の餌と住居の確保のために。

「虫こぶ」は、昆虫が身を守るための硬くて丈夫な外層、餌となる栄養豊富な細胞、水や養分を組織に送る維管束がシステマティックに配列され、中央に虫の居住空間を備えた高次構造をとっています。このような構造は、昆虫が何を仕掛けて、植物がどう対応すると出来上がるのか?この問いに対して、私たちは、分子レベルで解明しつつあります。

私たちの研究室では、謎に包まれた植物のポテンシャルや生命現象に対して、分子の言葉で説明するために、ウェット(実験)とドライ(コンピュータ)を使った解析を行っています。最近では、技術の進歩により、このような基礎研究が、すぐに農業やバイオマスなどで利用できる資材の開発など、応用研究へと発展させることが可能になりました。

世界がアツと驚くような革新的な発見を目指して、楽しく挑戦する人を歓迎します!



ラボミーティングの様子



ゼミ生の声

生命環境科学研究科 応用生命科学専攻
博士後期課程1回生 松澤 萌さん



>どんな雰囲気のゼミですか?

メンバー全員探求心が強く研究に熱いです!ゼミなどでのプレゼンテーションにとっても力を入れていて、就活や社会人になった時に役立つ力がかなりつくと思います!

>「このゼミでよかった!」エピソードをきかせて!

研究が上手くいかない時に、先生が横についてご指導くださりラボメンバーが真摯に相談にのってくれたので、問題を解決することができました。とても温かい研究室です!

>あなたが取り組んでいる研究テーマは?

植物の“側根”がどのように形成されるかを研究しています。主根として一度完成された細胞から新たな根が形成される仕組みを、虫こぶの形成メカニズムを基に紐解きます。

>今後の目標を教えてください。

現在の研究の目標は植物の側根が作り始められる詳細なメカニズムを解明することです。将来は研究職に就き自身の興味を追い求め、社会に役立つような発見をしたいです!

Keyword #植物 #形態形成 #虫こぶ #延長された表現型

課外活動紹介

卓球部



■活動内容について

小学生からやっている強者から大学で始めた初心者まで、幅広いメンバーで活動しています！指導者はいませんが、自分たちで練習メニューを考え、OBの方々の力も借りながら練習に励んでいます。現在、男女共に関西学生リーグの4部に在籍しており、3部昇格に向けて頑張っています！

■ここが魅力・自慢できること

色々な経験を積めるのが魅力です！リーグ戦の他にも、国公立大学だけが参加できる大会など、色々な大会に出られます。また、例年、夏休みに合宿を開催しており、今年は3泊4日で淡路島に行きました。たくさん練習した後は、淡路島の美味しいもの食べたり、みんなで遊んだりもしましたよ！

■今後の目標・やってみたい活動

3部昇格を果たすべく、今夏には、3つの大学と練習試合をしましたが、今後も他大学との交流を増やして実力をつけていきたいと思っています！また、高校生とも積極的に交流したいので、興味があれば、ぜひ一緒に練習しましょう！

■ひとことメッセージ

卓球はやればやるほど上達するスポーツで、少しずつ自分のできる技術や戦い方が増えてくるのが本当に面白いです！大学卓球の世界で活躍したい方、一度やめたけどまた卓球がしたい方、大学から新しいことを始めてみたい方、みなさんの入部をお待ちしております！



Data

代表者：藤田 尚希さん(文学部 歴史学科)
1年生:9人 2年生:3人 3年生:6人 4年生:2人
活動時間：[月・水・木]18:00～20:00
[土] 9:00～12:00



2023年度の春リーグ。リーグ戦の独特な空気が好きです。



時に楽しく、時に真剣に。練習にも熱が入ります。

Instagram



@KPU_TTC

X:旧Twitter



Data

代表者：立石 真大さん(生命環境学部 生命分子化学科)
1年生:3人 2年生:4人 3年生:4人 4年生:7人
活動時間：[月・水]18:00～19:30
[土]10:00～13:00



新入部員の初めての発表の様子

みんな仲良し！



Instagram



@KPU_GMC

X:旧Twitter



ギターマンドリンクラブ

■活動内容について

マンドリン(2部)、マンドラ、マンドロンチェロ、クラシックギター、コントラバスの6部編成のオーケストラです。これらの楽器は全て弦楽器で、初心者から経験者まで幅広い層のメンバーで楽しく合奏しています。また、音楽をきっかけにして出会い、一緒に音楽を楽しむことが活動目的の一つです。

■ここが魅力・自慢できること

毎年秋に開催する定期演奏会では、大きなコンサートホールで合奏できるのが魅力の一つです。普段はその日に向けて、部員一丸となって練習に励んでいます。このため、先輩と後輩の繋がりが強いことも魅力です。また、部員は優しい人が多く、みんな個性豊かでお話するのが楽しいです。

■今後の目標・やってみたい活動

自分たちが楽しむだけでなく、演奏を聴いてくださる方々や活動を応援して下さる方々に、感動を与えられるような音楽を創り出すことが目標です。春に開催される京都学生マンドリン連盟の演奏会など、他大学の団体と合同で合奏をする機会も増やして、部外の方とも交流を深めていきたいです。

■ひとことメッセージ

大学から始めた部員も多く、先輩も丁寧に教えてくれるので、成長を実感できると思います。大学から新しいことを始めてみたい方には、とてもおすすめです！



ギタマンで使う楽器たち
(コントラバスもあるよ！)

Q1:いつ頃から進路を意識し始めましたか？

私が進路を意識し始めたのは、3回生の4月に大学で行われた就職活動の説明会に参加した時からです。6月からは実際に企業のセミナーやインターンに参加しました。最初は業種を絞らず、様々な企業のインターンに参加して、興味を持てる企業を探しました。最終的には大学で学んできたことに通じる業種に絞られましたが、他業種のインターンで学んだことも面接などでとても役立ちました。

Q2:就職活動を振り返って、大変だったことは何ですか？

何度もエントリーシートや履歴書を書いていると、自分がどういう人間なのか、本当にしたいことは何なのか分からなくなる事が度々ありました。そんな時は自分の一番好きな本を読んだり、家族や友人と話したりして気持ちをリセットするようにしていました。毎回悩みながら志望動機などを考えていましたが、それが最終的にどの企業を選ぶかの基準になったので、必要な時間だったと思います。

Q3:就職活動を通して気付いたこと、得たものはありますか？

就職活動をはじめる前は、頑張っただけで企業に選ばなければならないというイメージがありましたが、就活はむしろ自分の今後の人生について考える良い機会であり、「良い企業」というのもそれぞれの価値観によって変わるものだと思いました。ある企業で面接前に頂いた「もし不採用でもそれは貴方の落ち度ではなく、相性が合わなかっただけなので気楽に」というアドバイスにとっても救われました。

Q4:今後の意気込みを聞かせてください。

就職すると実家を出ることになるので、家族との時間を出来る限りとって、良い思い出を沢山作っておきたいです。また、内定先のサイゼリヤさんでアルバイトをさせて頂いているので、少しでも仕事に慣れて良いスタートを切れるようにしたいです。社会人になると今より自分のプライベートな時間は少なくなりますが、忙しい中でも初心を忘れず楽しく働いていけるよう頑張ります！



内定先 | 株式会社サイゼリヤ

文学部 和食文化学科

良 愛菜美 さん



内定先 | 株式会社オカムラ

生命環境学部 環境デザイン学科

円尾 太郎 さん

Q1:いつ頃から進路を意識し始めましたか？

就職活動を意識するきっかけとなったのは大学3回生の4月に行われた就職活動ガイダンスで、本格的に活動を始めたのは11月頃です。もともとインテリアや家具に興味があって環境デザイン学科に入ったこともあり、まずは興味のある家具メーカーや建物の内装を行う会社のインターンシップや説明会に参加するところから始めました。

Q2:就職活動を振り返って、大変だったことは何ですか？

エントリーシートの作成が最も大変でした。自分の性格や特徴を客観視して他人に表現するような経験は今までなかったため、キャリアサポートセンターの方や友達・先輩など多くの方々に助言をもらいながら作成しました。私はエントリーシートでいかに自分に興味を持ってもらい面接に呼んでもらえるかが重要だと考えていたため、自分のことをもっと知りたいと思ってもらうことを一番に意識していました。

Q3:就職活動を通して気付いたこと、得たものはありますか？

就職活動を通して、普段出会えないような方々と話をしたり普段では見えない場所を見せて頂いたり、大学では学べないようなことも数多く経験することができました。「やらなければ」という意識を持つと就職活動に苦しさを感じるかもしれませんが、就職活動は普段ではできない経験ができるとても貴重な機会でもあると思うので、まずは「知りたい」という純粋な興味で取り組んで欲しいと思います。

Q4:今後の意気込みを聞かせてください。

残りの学生生活は学生だからこそできることに時間を使っていきたいと思っています。研究活動に時間を費やしたり、様々な場所に足を伸ばして色々な景色を見るときいった時間の使い方は、時間のある学生だからこそできることだと思います。そこで得られる経験が社会人になった後の人生にも活かされてくると思うので、卒業まで有意義な時間の使い方を意識していきたいです。

キャリアサポートセンターから Career Support Center

キャリアサポートセンターでは学生皆さんの就職活動の支援を行っています。キャリアアドバイザーが常駐し、学生個々の疑問やお悩みに寄り添ったアドバイスをしています。また、その年の就職活動の動きに合わせてイベントを実施しています。

2023.4.13~14
就職オリエン
テーション

就職活動のスタートとして、学部3回生・大学院1回生向けガイダンスを開催しました。今後のスケジュールや採用試験におけるポイントをお伝えしました。

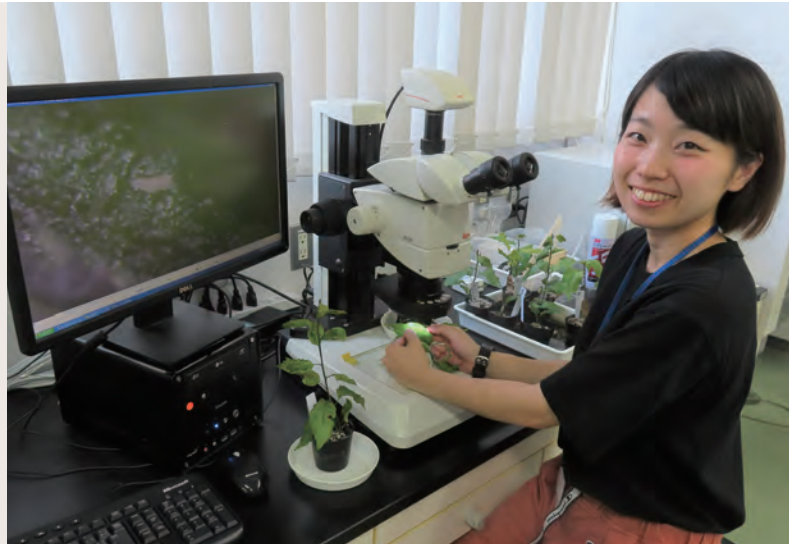
2022.11.21~30
合同企業
研究会

企業・地方自治体98団体に参加いただき、オンラインで開催しました。7日間で延べ382名の学生が参加し、様々な企業・業種、仕事内容の説明を聴きました。質疑応答の時間もあり、学生にとって多様な企業で働く方々と交流できる貴重な機会となりました。



Graduates
活躍する卒業生

生命環境学部 農学生命科学科
2017年度卒業
農研機構 植物防疫研究部門
竹山 さわな さん



農研機構植物防疫研究部門にて研究員として活躍中

在学中は、一般教養や専門科目の講義に加えて、学生実験や農場実習等で農学や生物学に関して幅広く学びました。また、興味のある研究室を訪ね、先生方に研究のお話を聴かせていただいたり、研究の手伝いをさせていただいたこともありました。4年次は植物病理学研究室に所属し、植物の病気の原因となる糸状菌(カビ)の感染メカニズムを明らかにするための研究をしていました。研究室のみんなとのディスカッションの際には、先生方が学生の質問に懇切丁寧に答えてくださり、研究をスムーズに進めることができました。

現在は、農研機構植物防疫研究部門で研究員として働いており、ナス科に感染するウイルスの抵抗性育種に関する研究や、虫によって媒介されるウイルスの研究等に取り組んでいます。研究を通して、新しい知見や知識を得られることは

とても刺激的です。また、学会発表や調査等で各地を訪れ、自分と同じ研究分野だけでなく異なる分野の研究者や、実際に農業に携わっている方々と交流することができることもこの仕事の良いところだと思っています。仕事を進めるうえで学生時代の学びや活動が役立っていると感じる場面も多く、今後も学び続けるという姿勢を大切に頑張りたいと思います。

みなさんの大学生活が豊かで実りあるものになることをお祈りいたします。



学生時代の竹山さん

制作協力

京都府立大学写真部

前号(No.188)に引き続き、今号も本学写真部の皆さんが本誌の掲載写真を撮影してくれました。(※一部写真を除く)今号は、なんと、表紙も写真部メンバーの撮影によるものです!本学写真部は、82名の部員が所属する学内でも有数の大規模団体です。本誌の撮影の合間には、みんなで撮影会に行った話を聞かせてくれたり、撮影した素敵な写真を見せてくれたり、カメラについて熱く語ってくれたり…と、とてもにぎやかで楽しい撮影になりました。

Special Thanks



写真部の活動についてもっと
知りたい方はこちらから

Instagram



X: 旧Twitter



ダチョウ学長のひとこえ

ChatGPTなどの画期的なテクノロジーも出てきました。新しさと伝統(京都)を融合させ、さらなる新しさを創出するのが本学の使命のかなと思います。とはいえ、私が研究しているダチョウさんは相変わらずこれからも原始的な鳥のままです。それも正解なのでしょう。世の中は複雑です。

発行元

京都府立大学広報誌 ふたはの桂
No.189 2023.10 発行

京都府立大学広報委員会

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL: 075-703-5147 FAX: 075-703-4979

E-mail: kikaku@kpu.ac.jp

